

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [二宮尊徳伝 \(4\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

二宮尊徳伝 (4)

家業に専念していた金次郎のもとへ、以前奉公していた家老の服部家から使者が来ます。破綻しかけている服部家の財政再建を手がけて欲しいという依頼でした。金次郎は何度も辞退しますが、家老のたつての頼みで受けることとなりました。ただし、金次郎のやり方に家中の全員が従うという条件をつけました。

財政が破綻する原因は単純です。
収入以上に支出するからです。
金次郎は次のような基本方針を打ち立てます。

収入に応じて支出の一定の限度を設けること。
その限度内で支出を計画的に行うこと。
節約できる支出はできる限り節約すること。

つまり“入るを量って、出ざるを制す”ですね。
この収入に応じて設定する支出の限度のことは後に「分度」と名付けられ、尊徳流経営方式「報徳仕法」の中心的考え方となります。

尊徳の日常生活は生涯にわたって質素節約でした。
粗衣粗食で呉き通しましたが、決してケチを奨励したわけではありません。

尊徳流というならば、そもそもケチと節約とは大きく異なります。
一つは「目的・動機」の違いです。
ケチは“自分のため”であり、節約は“他人のため”です。
もう一つは、その目的と関連するのですが、「経済的な分度」（収入に応じた支出の限度）を設定することを、節約の前提としたことです。
その分度に基づいて計画的な支出を行い、余剰を生み出し、その余剰を“他人のため”に役立てることこそ、尊徳の勤めた節約です。

しかし尊徳の必死な節約術も、武家の財政再建のむずかしさにはなかなか届きません。
財政再建を引き受けた時、服部家には収入の一年分を超える借金がありました。
当初5年半で借金をゼロにするという計画を立てますが、主人の支出を抑制することや、急に家屋の増改築を命じられたり、そのうえ家老が江戸詰めを命じられたりと、予定外の出費はかさむばかりです。
結局借金を完済できるまでには30年以上もかかってしまいました。

(5) に続く

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.